

## 「松田町男女共同参画プラン（素案）」に対する指摘事項 対応表

	協議会委員名	指摘箇所			意見・質問・訂正の内容			対応方法
		章番号	ページ番号	行数	区分	内容	理由・根拠	
1	長澤委員長	2	7		訂正	図6は（松田町）または（全国?）と入れた方が良い	グラフが続くので、全国、神奈川、松田町の別が明確になる方が良い。	指摘どおり修正します。
2	長澤委員長	2	8		訂正	図8は（松田町）または（全国?）と入れた方が良い 男女別のN数がわかるなら 縦軸単位（人） 図タイトル 男女の産業別就業者数（人）--- 単位を入れた方が良い		指摘どおり修正します。
3	長澤委員長	2	9		意見	図10について、全国の女性のグラフが同じようにかけますか？27年度データでは、全国では女性のM字カーブが減ってきているという結果のようです。松田でまだM字カーブであるようなら、特徴の一つと言えます。		全国の労働力率のグラフを挿入します。
4	長澤委員長	2	13		訂正	図15、16は、数字が読みにくくなっています。色の問題かもしれません。		指摘通り修正します。
5	長澤委員長	3章	50		訂正	①管理職を目指す女性への支	脱字	指摘通り修正します。
6	長澤委員長	3章	55		意見	意識調査の結果を数値目標とするのは、難しいのではないか 「夫は外で働き、妻は～」の質問	官公庁について 状況把握すべき7項目が以下のように挙げられている。  (1) 女性活躍推進法により、行動計画の策定にあたり状況把握すべきとされる7項目とは、「女性職員の採用割合」「継続勤務年数の男女差」「超過勤務の状況」「管理職の女性割合」「各役職段階の職員の女性割合」「男女別の育児休業取得率」「男性職員の配偶者出産休暇及び育児参加のための休暇取得率」  こちらを数値目標とするなどしたほうがよいのでは。→結果として、意識が変わることになるだろう。	当該箇所については、県計画（第4次）の素案にて、目標設定がされているため、そのままとします。 なお、藤沢市や秦野市などの近隣市町村でも同様に設定が見られます。 男性職員の産前産後休暇及び育児休業については数値目標を設定済みとなっています。

「松田町男女共同参画プラン（素案）」に対する指摘事項 対応表

	協議会委員名	指摘箇所			意見・質問・訂正の内容			対応方法
		章番号	ページ番号	行数	区分	内容	理由・根拠	
7	関委員	3章	56	16	意見	「ママパパクラス」⇒「パパママクラス」へ名称変更を提案	男性の家事・育児への参画促進に向けた施策（＝男性への取組み）であることを強調させるため。	母子保健法に基づく母親教室から始められている事業であり、山北町との共催でもあるため、修正が難しく、そのままとします。
8	関委員	3章	65	9	質問	「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定率：目標値20%」について（要再検討）	行動計画策定は、労働者300人以下の企業においては努力義務であり、策定を促すことは困難ではないか。	松田町では300人以上の規模を有する事業者が少ないことから、数値目標から除外します。 なお、他の同規模の町村でも同様の目標設定が見られませんでした。
9	吉崎委員	2章	60	3-施策の内容	意見・質問	「生活保護」だと担当部署が県保健事務所ではあるが、町（福祉課）の関わりがなにも無いように感じてしまう。 特に、生活保護者の自立支援や現在、困難を抱えている女性等（ワーキングプア等）の支援が町の部署としてどこにもないようになっているという事でしょうか。	この表記だと、町は関係なく、直接県に支援を求めてくれという感じで、つきはなした感じがします。 福祉課でも県とのつなぎ役はしているのではないのでしょうか？ これから教育をしていくと言うことは分かりますが、もう少し関わりが何えるような表記にして欲しいです。何も無いなら仕方ないですが。	生活保護について福祉課で行っている事務作業はありますが、決定権がないため、担当部署に福祉課の名称は入れないこととします。 子育て世帯の生活保護世帯に対しては、子育て健康課が県生活福祉課と連携して実施しているため、その旨、記載します。
10	北村委員	3章	61	7	意見	結婚、出産で退職された女性が年齢に関係なく希望があれば健康診断を受けられるように改善していただきたい。そして、妊産婦歯科検診と同じように託児が必要な場合は無料で預けられるようにして欲しい。	子を預けられないため、気になっていても、何年も健康診断を受けていない女性が多く、夫企業で家族健診制度がない方もいるため	貴重な意見として、今後の参考とさせていただきます。
11	北村委員	3章	63	14-①	意見	子育て支援サービスと子育て関連施設の充実の部分について、子育て支援センターに外遊びができるスペースがあると良い	遊具が大きくて遊べない 公園だと、2人以上連れて行くと囲いがないので急な飛び出しに対処できない	子どもの外遊びの場所の確保については、子育て支援センターに特化せず、町全体で考えることとし「女性活躍総合戦略」の子育て環境の施策にて検討・対応することとします。

「松田町男女共同参画プラン（素案）」に対する指摘事項 対応表

	協議会委員名	指摘箇所			意見・質問・訂正の内容			対応方法
		章番号	ページ番号	行数	区分	内容	理由・根拠	
12	北村委員	3章	63	14-①	意見	ファミリー・サポート事業のサポート料が1時間700円を1コイン（500円）として、200円分を町で補助してもらえると良い（上限があってもよいと思います）	保育園の一時預かりと同料金にすることで、利用拡大が期待できるため	保育園の一時預かりとファミリー・サポート事業は用途が異なるため、別料金でよいと考えるため、そのままとします。
13	北村委員	3章	63	14-①	意見	出産して退院して1か月以内の方で、家事や育児のサポートが受けられる産産後ヘルパー事業があると良いと思います。受けられる期間は1週間までで有料（1時間700円程度）	実父母が働いていて頼れなかったり、里帰りができない方が意外と多くいるため	貴重な意見として、今後の参考とさせていただきます。
14	北村委員	3章	57		意見	パパママクラスなどで現在もPRしていると思いますが、出産後の女性のホルモンバランスや気持ちの不安定さなどを具体的に伝えたり、ママがイラっとする夫の声かけや行動の具体例などDVDで紹介するのも良いと思います	今は文字ではなく映像で見た方が理解度が高く伝わりやすいため。	貴重な意見として、今後の参考とさせていただきます。
15	青木委員	3章	56	最終行	意見	家事や育児等への男性の参画を促進するのであれば、男性を主体とした施策を行った方が良いのではないかと思います。	杉山委員が言っていた様に、予防接種さえわからない男性（父親）が多いと思うので、もっと特化した取り組みをした方が良いと思いました。	ママバパクラスは父親も含めたものとなっているため、そのままとします。「男の料理教室」を施策に追加します。
16	青木委員	3章	59	1	意見	LGBTという言葉さえわからない人が多いので、その言葉自体の補足が必要なのではないでしょうか。	かえって好奇の目にさらし、辛い思いをさせることがないように、正しい理解ができるよう啓発することが大切だと思うからです。	LGBTの用語については巻末の「用語解説」にて説明しているため、その旨、本編へ説明書きを追加します。
17	青木委員	3章	63		意見	保育所の待機児童は0人と書いてありますが、現状定員超過で、入所の問合せもどんどんきているので、幼稚園のこども園化など、目標を定めて進めていった方が良くないでしょうか。		貴重な意見として、今後の参考とさせていただきます。

「松田町男女共同参画プラン（素案）」に対する指摘事項 対応表

	協議会委員名	指摘箇所			意見・質問・訂正の内容			対応方法
		章番号	ページ番号	行数	区分	内容	理由・根拠	
18	小谷委員	2章	32	図	訂正	図42、43となるところ 下図も42になっている（これ以降、要修正）	通し番号のミス	指摘通り修正します。
19	小谷委員	2章	44	16 3)内	訂正	細かい点ですが、インデントが上下と合っていない		指摘通り修正します。
20	小谷委員	2章	47	12 2)内	訂正	同上		指摘通り修正します。
21	小谷委員	3章	60	11 ④内	訂正	同上		指摘通り修正します。
22	小谷委員	資料	98	[イクボス]	意見・訂正	イクボスの定義のうち、③表現が気になります。どこからもってきたものですか？	目標（利益）を達成していることが条件ではなく、業績達成のための成果をあげていることかと思えます。	イクボスは本編から除外したため、用語説明からも除外することとしました。
23	小谷委員	資料	99	[DV]	意見	DVを行うのは、配偶者（+に準ずるもの）だけではないはず。異性だけでもない。（DV防止法は、配偶者からの暴力の話ですが）		当プランは、DV防止法に基づく市町村基本計画を兼ねるものとして作成するため、DV防止法に準拠した表現である現在案のままとします。